



**餘慶寺だより**  
 編集・発行 上寺山餘慶寺  
 〒701-4232 岡山県瀬戸内市邑久町北島 1187  
 納経所 TEL 086-942-0186 FAX 086-942-0187  
 惠亮院 TEL/FAX 086-942-3788  
 本乘院 TEL 086-942-2791 FAX 086-239-5823  
 吉祥院 TEL/FAX 086-942-3789  
 定光院 TEL 086-942-2356 FAX 086-944-1490  
 明王院 TEL 086-943-1030 FAX 086-943-1069  
 圓乘院 TEL 086-942-2356  
 ホームページアドレス <http://www.yokeiji.jp/>

福鈴まつり、今年も開催します。詳しくは別紙ご案内をご覧ください。

# ごあいさつ

## 退任のご挨拶

平成三十年三月末日をもちまして、任期満了により餘慶寺住職を退任いたしました。

在任中の六年間は、檀信徒の皆様をはじめ、山内各院、関係者各位、実に多くの方々に支えられ、見守られながら、お陰様で何とか勤め上げることができました。そのご恩に対し、紙面をお借りして心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

さて次の餘慶寺住職に、明王院住職岡本昌幸師が就任されました。新たな山主には、みほとけたちのご加護や皆様方のお力添えをいただいて、一段も二段も餘慶寺全体を高め導いて下さるものと期待しております。どうか皆様、引き続きご支援ご協力たまわりますようお願い申し上げます。

惠亮院住職 土井内祐真

## 就任のご挨拶

このたび、任期満了により退任された土井内祐真師に代わり、四月一日より餘慶寺住職に就任させていただくことになりました。

前任職をはじめ歴代住職方の足元にも到底及ばぬ浅学非才の身ですが、「一隅を照らす」の精神をもとに皆様のご理解ご協力を頂きながら六年間の任期を誠心誠意勤めてまいりたいと思っております。今後とも前任者同様のご支援をたまわりますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

明王院住職 岡本 昌幸



### 餘慶寺からのお知らせ

**薬師縁日 (於 薬師堂)**  
 毎月8日 午前10時～ (8月はありません)  
 護摩祈祷をしています。ご祈祷のお申し込みは随時納経所で受け付けています。

**観音縁日 (於 本堂)**  
 毎月18日 午前8時～  
 みんなで観音経をあげます。お経本は本堂にありますので、お気軽にお詣りください。



大般若経・十二神将などのご寄進の申込は納経所まで。

### 餘慶寺水まつり

今年も八月最終土曜日（八月二十五日）の十八時より、恒例の水まつりを開催いたします。

まず「施餓鬼会」法要では、三界万霊、すべての命を供養し、その功德がご先祖様やご家族、自らにも分け与えられます。餘慶寺の各院僧侶がおつとめをし、ご参拝の皆様も、本堂に設置された水棚に進んで経木塔婆の供養をしていただきます。引き続き「万灯会」がとり行われます。境内は、供養の灯りで幻想的に照らし出され、癒しの音楽が心を和ませます。

恒例となりました寺庭婦人による縁日広場も好評です。お菓子すくいなどお子さまにも楽しんでもらえますのでご家族と一緒に楽しみたいと思います。

夏の終わりは、ご家族お揃いで上寺山餘慶寺へ、お参りください。



施餓鬼会法要にて



万灯会にて



縁日広場にて

### 写経会にご参加ください

七月一日（日）～三日（火）早朝五時（於 本堂）

詳しくは、別紙申込書をご確認いただき、志納金を添えて各院または納経所へお申込みください。

※椅子席をご用意いたします。



### 納骨堂のご案内

新納骨壇「葵」を増設致しました。本納骨壇は一霊用・二霊用・四霊用をご用意しております。

水まつりでは、

古い塔婆のお焚き上げや、

古い盆提灯のお祀りもしています。

八月になりましたら、本堂へお持ちください。



ひとくち法話

# 人のかおり

山野に咲く花にはそれぞれによいかおりがあつて、それは風にのつてどこからともなくやつて来ます。

人にもかおりがあります。が、人のかおりは鼻でかぐものではなくて、その人の表情やことばとなつて表われてくるものをいいます。

財がなくてもできる布施である『無財の七施』として、  
眼施・和顔悦色施・言辭施などがあります。柔和な顔や  
思いやりのある真心のこもつた言葉からは温かい匂いが  
しますし、反対に冷たい目つきや顔・とげとげしい言葉  
からは快い匂いは感じられません。

さらに、『花のかおりは風に逆らえば匂わず、されど善  
き人のかおりは風に逆らつても匂う』と言うように、すば  
んだり風がなくなると匂つて来ない花のかおりと違つて、  
人のかおりは風とは関係なく遠くまで匂つて行きますし、  
その人が亡くなつても後の世までも匂つて行きます。

このようなことは『一隅を照らす』  
『己を忘れ他を利する』の精神  
にも通じていることです。私達は、神仏  
からいただいた尊い命を大切にし、  
『一隅を照らす』人であるよう毎日  
を精進していきたいものです。



# 桜まつり・花まつりのご報告

四月一日〜八日の期間、餘慶寺では恒例の桜まつりが開催されました。今年は桜の開花が早く、満開の状態でおまつりを迎えました。たくさんの方がお花見弁当を片手に楽しまれたかと思ひます。

期間中は本堂外陣にお祀りした花御堂へのお参りや薬師堂内の特別拝観、寺庭婦人による「さくらカフェ」や甘茶の無料接待（八日のみ）などが行われました。毎年お参りに来られている方もいれば、今年初めてお参りに来られた方もおられ、それぞれに多くのおかけをいただいたことと思ひます。



花御堂にお参りする参拝客

## 第二回 寺遊びinよけいじ

七月二十七日（金）開催！

別紙申込書でお申込みください

※募集人数四十名 先着順

毎月十八日は観音縁日。午前八時より観音経を読誦します。



毎月第二日曜日 午後二時より阿弥陀堂にて納骨堂説明会を行っています。

### 餘慶寺境内紹介

#### 『句碑』

上寺山内を探索していますと、

#### 「目の前を浮世が過ぎる日向ぼこ」

と書かれた句碑に出会います。

この句の作者は、馬場木陽さんです。馬場さんは長い間、今城小学校の先生をなさっていました。先生曰く、この句は正月が目の前にせまった師走のある日の作品です。日向ぼこをしている前の道を、新聞配りの子どもが走り、豆腐屋が鐘を鳴らして通り、魚屋が急ぎ、歯乃木売り続く。会社や工場へ急ぐ人の車が通り、学校へ行く小中学生が急ぎ、郵便屋さんが出てくる。そんなあくせくした浮世の動きをとらえて、ただ「目の前を浮世が過ぎる」とおっしゃった一句です。

皆さんも気持ちを含めて句を作ってはいかがですか。  
参考にしていただけたらと思います。



### よけいじ寺子屋だより

会場 餘慶寺会館（十四時〜）

#### 寺子屋写真館



### 今後の予定

☆『餘慶寺の絵画について』

講師 笠岡市立竹喬美術館学芸員

六月十日（日）

☆『般若心経をよむ』

講師 恵亮院住職

六月二十三日（土）

☆『お地藏さんをおまつり』

講師 恵亮院名誉住職

七月十五日（日）

☆『寺遊びinよけいじ』

小学生対象

七月二十七日（金）

※どなたでも聴講できます。

お誘い合わせのうえ、ご参加ください。  
八月はお盆期間中のため、寺子屋はお休みします。

#### 編集後記

先日、会館前のスイレン鉢を見ると今年も花を咲かせてくれました。水面にボツと咲いている姿を見ると、なんだか心が洗われる感じがします。  
これから、蓮やスイレンが餘慶寺の境内を彩ります。季節は梅雨に入りますが、蓮やスイレンを見に上寺へお越しください。